

角質細胞間脂質の主成分 セラミドについて

セラミド EOS と他の 11 タイプのセラミド（例えば、セラミド EOP、セラミド NG、セラミド NP、セラミド EOH、セラミド AG、セラミド AP、セラミド AH、セラミド AS、セラミド ADS、セラミド NS、セラミド NDS など）は、皮膚のバリア機能に対して異なる影響、「モノの出入りをコントロールする機能」「水分を保水する機能」を及ぼします。

セラミド EOS「セラミド+リノール酸」は、皮膚のバリア機能を強化し、体内からの水分の蒸散を制御し、外部からの物質の侵入を防ぐ役割を果たします。これは「物質の出入りをコントロールするバリア機能」と言えます。なお、リノール酸は、必須脂肪酸。

一方、他の 11 タイプのセラミド「セラミド+リノール酸以外の脂肪酸」は、水分を保持する能力を強化し、皮膚の乾燥を防ぐ役割を果たします。これは「水分を保持するバリア機能」と言えます。

したがって、セラミド EOS と他のセラミドは、どちらも皮膚のバリア機能に寄与しますが、その機能のタイプや特性は異なります。これは、肌の健康を維持し、皮膚疾患の予防と解消、さらには美容にも役立ち、これらの異なるタイプのセラミドが互いに補完的に働くことを示しています。